

プログラム

第1日 12月21日(土)

第1会場(1001-1003)

開会式 [13:00～13:10]

大会宣言

会長挨拶

吉岡 充(特定非営利活動法人全国抑制廃止研究会 理事長)

大会長挨拶

橋本 康子(医療法人社団和風会千里リハビリテーション病院 理事長)

厚生労働省講演 [13:10～13:40]

「高齢者虐待防止施策等の動向について」

講師: 畑 憲一郎(厚生労働省老健局高齢者支援課 課長補佐)

ワークショップ6 [13:45～16:30]

「虐待を防止する—アンガーマネジメントとストレスコントローラー—」

ファシリテーター: 濱崎 陽子(松谷病院 看護部長)

ワークショップ7 [13:45～16:30]

「身体抑制を希望するキーパーソンへの対応」

ファシリテーター: 池田 直也(池田直也社会保険労務士事務所 所長)

第2会場(1009)

シンポジウム・討論会 [13:45～16:30]

「病院で身体拘束抑制廃止はできるのか」

シンポジウムにあたって

橋本 康子(医療法人社団和風会千里リハビリテーション病院 理事長)

シンポジウム座長: 飛田伊都子(滋慶医療科学大学院大学医療管理学研究科 教授)

シンポジスト:

1. 身体拘束ゼロを目指して～身体拘束廃止対策委員会活動から～
青山 房子(聖ヶ丘病院 統括看護部長兼総合企画室部長)
2. 継続するために重要なこと
福本 京子(医療法人笠松会有吉病院 顧問)
3. 看護師が行う身体拘束を行わないための工夫
田中かおり(医療法人湊仁会定山湊病院 看護部長/北海道抑制廃止研究会 会長)
4. 身体拘束ゼロを可能にする大誠会スタイル
横坂由利子(医療法人大誠会内田病院統括看護部 看護副部長)
5. 揺らがない理念とケアの構築
井口 昭子(多摩平の森の病院 総師長)

討論会座長: 橋本 康子(医療法人社団和風会千里リハビリテーション病院 理事長)

第3会場(1004)

ワークショップ2 [13:45～16:30]

「ミトン抑制をアセスメントする」

ファシリテーター: 友原たき子(小林記念病院 看護部長)

第4会場(1005)

ワークショップ3 [13:45～16:30]

「センサー類の使用における問題点」

ファシリテーター: 能見 昭彦(介護老人保健施設アルボース アルボース事務局)

第5会場 (1006)

ワークショップ4 [13:45～16:30]

「スピーチロックの理解—その言葉遣いについて—」

ファシリテーター：蓮実 篤祐（特別養護老人ホームプレーグ本荘 施設長）

第6会場 (1007)

ワークショップ5 [13:45～16:30]

「ベッド柵を使用しない環境の提供」

ファシリテーター：野村美代子（介護老人保健施設ペアレント 科長）

第7会場 (1008)

ワークショップ1 [13:45～16:30]

「『抑制廃止』の知識と理解 —管理者がすべきこと—」

ファシリテーター：奥村 順子（永生会みなみ野病院 看護師長）

第2日 12月22日 (日)

第1会場 (1001-1003)

特別講演1 [9:30～10:30]

「身体抑制廃止—リスク管理と病院の責任をどう考えるか」

座長：美原 恵里（介護老人保健施設アルボース 施設長）

講師：中谷 雄二（名古屋共同法律事務所 弁護士）

特別講演2・サイン会 [10:30～12:10]

「夢に向かって走れ」

座長：富家 隆樹（富家病院 理事長）

講師：安藤 忠雄（建築家／東京大学 特別名誉教授）

市民講座（演劇公開）※参加費無料 [13:15～14:30]

司会：芹澤 隆子（日本ダイバーショナルセラピー協会 理事長）

演目「扉をあけて」

出演：シニア劇団「すすしろ」

基調講演 [14:30～15:30]

「高度急性期医療の場での抑制しない看護へのチャレンジ」

座長：木下 祐介（光風園病院 院長）

講師：小藤 幹恵（前 金沢大学附属病院 副病院長・看護部長／現 公益社団法人石川県看護協会 会長）

ワークショップ発表 [15:30～16:10]

座長：進藤 晃（大久野病院 院長）

閉会式 [16:10～16:30]

第2会場 (1009)

ランチョンセミナー [12:10～13:15]

「抑制廃止に向けての物的対策の活用」

座長：宮本美恵子（橋本病院 副院長）

1. 我が国の身体拘束の歴史

吉岡 充（多摩平の森病院 理事長）

2. 抑制廃止に向けての物的対策の活用

杉山 良子（パラマウントベッド株式会社 顧問）

共催：パラマウントベッド株式会社